

◎多世代交流の仕組みづくり事業

12月22日(日)に、実谷区民館で地域住民、三育学院大学と一緒に、多世代交流の仕組みづくり事業「第8回 寄茶場 in 実谷&七本」を実施しました。

今回は、お正月のしめ縄飾りやわら細工を総勢43名の高齢者、親子、三育学院大学の学生で作成しました。



▲高齢者からしめ縄作りを教わる子ども達

今回、住民の方が新年に自分で作ったしめ縄を飾りたい、昔の伝統を知りたいという思いからしめ縄飾りやわら細工作りをしました。

ロコミやチラシを見て、しめ縄飾りを作りたい方が多く集まり、今まで参加したことがない高齢者や親子も多く参加しました。制作中も地元の高齢者の周りに子ども達が集まり教わっている姿がとても印象的で、時間を忘れるくらい楽しく過ごしました。



▲高齢者と子ども達がしめ縄を一緒に作る姿

今回、しめ縄飾りを教えてくれる方やわらを譲ってくれる方、装飾品集めなど、住民の方が率先して誰に何ををお願いするか決めました。また、当日もブルーシートやストーブなど地域住民の方が準備してくださり、今までで一番地域住民の方が中心となった多世代交流でした。

地域住民も「かしこまったことはせずに今回のような伝統を継承しながら多世代交流が出来るのが一番良い」と話していました。今後もこの意見のような高齢者と子ども達が自然と交流できる内容を実施していきたいと思います。



▲完成したわら細工